

組織部速報

2018年11月6日
No. 7

「真実の声」による組織破壊を許さず、 JR東労組の再生に固く連帯しよう!

6月よりインターネット上に開設された「真実公社」の「真実の声」なるホームページには、JR東労組に対する誹謗・中傷を中心に、様々な意見が投稿という形でアップされています。その中には「JR東労組を憂う会」の結成主旨の抜粋も掲載されています。言うまでもなく「JR東労組を憂う会」は、JR総連第34回定期大会で「組織破壊」として認定された組織であり、その結成主旨が掲載されていることから、同質であることは間違いありません。

現在JR東労組は、18春闘の大敗北を教訓として再生をはかるために、12地本が一体となって組合員の信頼をかちとり、脱退した組合員の再加入をめざし厳しい努力を行ってきている只中にあります。その中であって無責任に誹謗・中傷を繰り返す「真実の声」は、JR総連・JR東労組を破壊しようとする者を利するものであり、断じて許すことはできません。

過日開催されたJR総連単組地協拡大代表者会議においても「真実の声」は「組織破壊」と確認をされました。JR貨物労組においても、10月31日に開催された第7回中央執行委員会において、「真実の声」は組織破壊であることと、各地本に対して周知・徹底をはかることを確認しました。JR貨物労組として引き続きJR東労組の再生に固く連帯していきます。

政治が暴走し、反動化している現在、改憲も政治日程に上ってきました。今後さらにJR総連に対する攻撃が強化されるのは確実といえます。

だからこそ、私たちJR貨物労組は、JR総連に対する一切の組織破壊を許さず、平和・人権・民主主義を守るために全力を挙げていきます。